

令和3年度 財務部の運営方針

部(局)	財務部	部長	福井 浩
------	-----	----	------

【基本方針】

財務部では、歳入の根幹となる市税の確保をはじめ、公正・適正な契約事務の執行に努めるとともに、将来にわたって安定した財政運営を行うため、次の目標に取り組みます。

- ① 収支のバランスに注意しながら財政運営を行うとともに、将来の負担となる市債の借入れにあたっては、事業を厳選します。
- ② 市税の公平で適正な課税と徴収率の向上に努めます。
- ③ 入札及び契約にあたっては、公正性、透明性の向上に努めながら、競争性の確保を図ります。

【重点目標】

1	目標	(5)	みんなで作る暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和3年度 達成状況
	計画的な財政運営による持続的で健全な行財政基盤の確立					C
2	目標	(5)	みんなで作る暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和3年度 達成状況
	市税の公平で適正な課税及び徴収					B
3	目標	(5)	みんなで作る暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和3年度 達成状況
	適正かつ安全な入札及び契約の執行					A

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
 B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
 C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
 D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
 E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

部(局)名	財務部
-------	-----

重点目標 1	計画的な財政運営による持続的で健全な行財政基盤の確立
--------	----------------------------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
令和2年度決算について予算に対する執行率の検証を行い、次年度の予算編成に活かします。	令和4年度の予算要求額について各事業課とヒアリングを行い、令和2年度の決算状況や令和3年度予算の執行状況等を踏まえてさらに精査を行うことにより、既存事業では経常費用の削減を行いました。投資的経費の増加や公債費の増加により財政調整基金の繰入額は1億円増加しました。	C 一部達成
今年度の達成目標	達成状況	達成度
今後の起債の発行と公債費の再検討を行います。	各事業課が作成した実施計画を基に投資的事業に必要な一般財源を算出し、今後の見通しを踏まえて事業の実施検討を行いました。	C 一部達成

具体的取組	具体的な取組実績
<p>臨時的な経費を除いた歳出経費の縮小を図ります。</p> <p>所管室・課 財政課</p>	<p>令和4年度予算の編成に当たり、各事業課に対し、予算要求額の算出については実績・実態に見合った適正な額とするよう要請しました。</p>
具体的取組	具体的な取組実績
<p>交付税に算入される優良な起債の選定を行うとともに、公債費の管理計画を見直します。</p> <p>所管室・課 財政課</p>	<p>令和元年度及び令和2年度の決算について分析を行いました。また、実施計画などを反映させた償還シミュレーションの更新を行い、経常一般財源ベースの所要額の見直しを作成しました。</p>

総合評価・総括	全体の達成度
令和4年度当初予算は、前年度に比べて約7億4,000万円の増加となりました。これは前年度が市長選挙の関係で骨格予算であったことに加え、新型コロナウイルス感染症への対策経費やアフターコロナに向けた予算を計上したことなどが原因です。予算額の増加に伴い、財源不足による財政調整基金からの繰入金も、前年度に比べて1億円増加したことから、持続可能な行財政運営に向けた取組としては課題が残った結果となりました。	C 一部達成

今後検討すべきこと
今後、稼働人口の減少に伴い市税が減収していく中で、人件費や社会保障経費、他会計への繰出金などの固定経費は増加していくと見込んでおります。また、これに加えて老朽化施設の維持補修や改修などによる投資的経費の増加と、これに伴う公債費の増加も見込まれますことから、財政運営は今後も厳しい状況が続くと見込まれます。投資的経費の平準化については、公共施設の統廃合や改修の必要性、実施時期などについて関係部署が連携して協議し、検討を引き続き進めてまいります。

部(局)名	財務部
-------	-----

重点目標 2	市税の公平で適正な課税及び徴収
--------	-----------------

今年度の達成目標
課税調査により課税客体を的確に把握し、公平で適正な課税及び徴収に努め、市税に対する信頼と税負担の公平性を確保します。



達成状況	達成度
給与支払報告書未提出事業所への提出催告(33件)、法人市民税未申告法人等への課税調査(50件)、償却資産未申告事業所への課税調査等(47件)を実施しました。その結果に基づき、合計3,198,380円の市税を新たに課税しました。	C 一部達成

今年度の達成目標
令和2年度の徴収率を上回ることを目指します。



達成状況	達成度
令和4年2月末地点の市税徴収率は、87.8%と昨年同時期と比較し、1ポイントの増加となりました。なお、昨年度申請された新型コロナウイルス感染症に伴う徴収猶予特例制度分が令和3年度に納付されたことも徴収率に影響したと考えられます。	B 概ね達成



具体的取組
滞納額解消に向け、早期の納税相談及び交渉を行います。



具体的な取組実績
滞納となった場合に、督促状・催告書を送付し、早期に納税相談を行い、自主納付を促しました。

所管室・課	納税課
具体的取組	
滞納事案について、厳正な滞納整理を推進し、市税の適正な確保に努めます。	
所管室・課	納税課



具体的な取組実績
自主納付に至らない場合には、財産調査を行い、滞納処分を執行し、滞納額の縮減を図りました。

総合評価・総括
令和3年度においては、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施するとともに、課税客体の調査に取り組み、目標達成に努めました。課題としては、パンデミック下においても持続的かつ安定的に業務を行える人員体制を構築するため、知識と経験を兼ね備えた職員の早期育成に取り組む必要があると考えています。また、市税の適正な確保に努めた結果、徴収率の向上及び滞納額の解消を図ることができました。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
新型コロナウイルス感染症の感染拡大は現時点においても収束が見通せず、国内経済に長期的な影響を与えています。また、国際情勢の変化に伴い、一部輸入原材料などの価格高騰が企業業績に影響を及ぼす可能性もあります。このような社会・経済状況を踏まえ、納税者の実情に即したきめ細やかな納税相談に引き続き取り組むとともに、課税適正化のための調査等の取組も進めてまいります。

部(局)名	財務部
-------	-----

重点目標 3	適正かつ安全な入札及び契約の執行
--------	------------------

今年度の達成目標
契約事務における透明性・公正性・競争性を確保します。
今年度の達成目標
新型コロナの感染リスクを軽減した入札を実施します。



達成状況	達成度
審議の結果、入札等監視委員会から、意見の具申、勧告はなく、適正な入札、契約事務により、透明性・公平性・競争性が確保できました。	A 達成
達成状況	達成度
入札会場において新型コロナの感染クラスターの発生を防ぐことができました。	A 達成



具体的取組	
入札及び契約内容の透明性を確保するため、入札等監視委員会を開催します。	
所管室・課	契約検査課
具体的取組	
これまで入札室で執行していた入札を来庁不要な電子入札や郵便入札に移行するとともに入札室で執行する場合は、基準を設け、人流を抑制します。	
所管室・課	契約検査課



具体的な取組実績
7月16日、11月9日、2月10日と3回開催し、それぞれ前年度下半期の建設工事と物品の購入、前年度の業務委託、今年度上半期の建設工事と物品の購入の入札案件及び対象となる随意契約について、審議いただきました。
具体的な取組実績
全201件の入札のうち、紙入札の執行基準(指名業者数が12者以下、すべての指名業者の所在地が大阪府内である。)に適合する案件を除く193件の入札については、電子入札又は、郵便入札を実施しました。また、紙入札の執行においては、入札室の換気や手指消毒剤を設置するなどの感染防止対策を行いました。

総合評価・総括
契約事務における透明性・公正性・競争性の確保については、対象となる契約案件を3回にわたり開催した入札等監視委員会において審議いただくことにより達成できたと考えます。特に委員会において審議できる時間には制約があるため、審議案件の抽出にあたっては、抽出に費やせる期間を約2週間とし、委員が十分に案件の内容を精査のうえ抽出していただく時間を確保するようにしました。また、郵便入札においては、入札参加者の封入ミスを防止するため、封入方法を分かりやすく図示した文書を設計図書等とともに配布する等の注意喚起を行い、ミスによる無効入札を減らすよう努めました。

全体の達成度
A
達成

今後検討すべきこと
入札契約事務の最重要課題である透明性・公正性・競争性の確保については、引き続き進めてまいります。